

目 次

1. あいさつ	会長 蓑原 照光	1
2. 新年のごあいさつ	宮崎地方法務局長 工藤 聡	2
3. 新年の挨拶	宮崎県公共嘱託登記土地家屋調査士協会理事長 土屋 洋二	4
4. 理事会抄		5
5. 平成22年度宮崎地方法務局との業務協議会		6
6. 年男に聞く	日向支部 安田 稔	9
7. 県会トラバース会ゴルフコンペが開催されました		10
8. 全国一斉表示登記無料相談会が実施されました		10
9. なんでも生活無料相談会		11
10. 平成22年度ADR特別研修認定調査士合格者		11
11. 新入会員紹介	宮崎支部 岩切 謙一	11
12. 思い出の事件	都城支部 魚矢 隆文	12
13. 近況雑感	都城支部 城脇 一男	13
14. 論壇 公嘱事件の入札問題について	公嘱協会監事 竹下 盈紘	14
15. 新局長紹介	局長 岡本日出男	14
16. 会務報告		15
17. 会員の動き		16
18. 編集後記		16



あ い さ つ

宮崎県土地家屋調査士会

会長 蓑原 照光

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えのことと思います。本年が皆様にとってより良き年であります様、心よりご祈念申し上げます。

本会の会務運営につきましては、平素よりご理解とご協力を頂き、厚くお礼申し上げる次第です。昨年は宮崎で発生した口蹄疫問題で、畜産業のみならず会員の皆様の業務にも少なからず影響があったものと思います。本会の会務運営につきましても研修会の遅れ等、ご迷惑をおかけすることとなっておりますが、ご理解を賜りたいと思います。

平成22年度の土地家屋調査士試験の宮崎における合格者は5名となっております。本年度早々の開業予定者が2名あり、総会員数195名となり、ここ数年来の減少傾向に歯止めがかかった感があります。若手の新規入会を心待ちしている所です。

また、平成22年度は土地家屋調査士制度制定60周年、表示登記制度創設50年の節目の年に当たり、宮崎会としても記念事業の一環として法務局と合同の表示登記無料相談会を県下6支部同時開催で行ったところでした。全体の相談件数は28件でありましたが、県民の皆様には何かしかなお役に立てたのではと思っております。

昨年は内閣府に設置された地域主権戦略会議の中で取り沙汰された、国の出先機関原則廃止の議論に於いて、法務局も国の出先と位置付けられ、法務局が行う登記、供託、国籍に関する事務を地方（市町村）に移管すると言う乱暴な議論が展開されてきました。日本土地家屋調査士会連合会におきましても、登記事務の所管・

権限が、仮に基礎自治体に移管されるとしても地域にとって、その必要性が極めて低いものであること、適正に登記事務を遂行するためには専門家の育成のための継続教育を必要とすること、人員配置などの克服すべき課題が多くあること及び、登記事務は、国民の財産権を保護し、取引の安全の確保機能を通じて経済活動の基盤であり、国土・領土にも繋がる極めて重要な事務であること等から、明治以来、国が一元的に行ってきた事務であり、国が主体的に行う事務であること等の理由により、政治連盟と一体となって反対運動を展開してきた所であります。宮崎会においても、地元代議士の先生方、中村幸一宮崎県議会議長を過日訪問し、地方分権の旗印の下に慎重な議論が成されないまま、このような事が進んでいく危険性について説明をさせて頂いた所であります。

連合会及び各単位会の取り組みが功を奏してか平成22年12月20日付けの情報では、「事実上法務局等の地方移管は先送り」、との結論が出た模様です。しかしながらあくまでも先送りであり、予断を許さず継続して運動は展開していく必要性が説かれてあります。会員の皆様におかれても調査士制度の根幹に関わる問題と捉え、引き続き注視方お願いしておきます。

その外、年度早々にオンライン申請の全面改正がなされます。研修会は2月、3月に予定しております。会員の皆様方より一層のご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。



新年のごあいさつ

宮崎地方法務局
局長 工藤 聡

新年、明けましておめでとうございます。

宮崎県土地家屋調査士会会員の皆様方におかれましては、お元気で新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様方には、法務行政、取り分け不動産の表示に関する登記制度の円滑な運営につきまして、多大な御支援、御協力をいただいておりますことに対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、昭和35年に登記簿と土地台帳・家屋台帳の一元化のための旧不動産登記法の一部改正が行われて、表示に関する登記制度が創設されてから50年目の節目にあたる年でした。

いうまでもなく、表示に関する登記は、権利の客体である不動産を現地で特定することができるよう不動産の物理的状況を登記記録に記録して公示するものであり、不動産登記制度の基礎を支える重要な機能を営んでいます。

当局といたしましても、表示登記制度発足50年のあゆみを振り返り、表示に関する事務処理体制の在り方等を常に見直し、表示登記制度の今後の充実・発展に向けて取り組む所存でございますが、年頭に当たり、当局における登記行政の課題について、若干申し上げさせていただきます。

まず、登記所備付地図作成作業についてであります。

登記所備付地図の整備事業については、表示登記事務に関する現下の最重要課題であります。本年度は、宮崎市大字本郷南方ほかの地区の一部（D I D地区）において地図作成作業を実施しています。事業規模は総面積0.33km²、1,800筆、地権者数約1,000人という内容ですが、昨年夏からの一筆地立会い調査、細部測量など、

皆様方の多大なる御協力によりまして、ようやくその成果が本年1月に縦覧という形でお示しできるところまでになりました。

今後は、その縦覧結果を待って、本年3月までに、職権による登記を完了する予定ですが、来年度以降もこの地図作成作業については継続していきたいと考えていますので、これまで以上に皆様方の御協力を賜りますようお願いいたします。

次に、筆界特定制度についてであります。

平成18年1月に始まりました筆界特定制度につきましても、開始当初から、筆界調査委員として皆様方の御協力をいただいております。深く感謝申し上げます。筆界特定事件の処理につきましては、現在、当局においては、6か月を標準処理期間としていますが、今後とも、筆界特定を迅速に処理していくために、皆様方との協力関係の維持に引き続き努めるとともに、国民の信頼が得られる制度として定着していくよう取り組んでまいりたいと考えています。また、筆界特定制度が国民にとって利便性の高いものになるためには、貴会ADRである「境界問題相談センターみやざき」との連携が不可欠でありますので、本年においては、両制度の適切な活用につながる取組を積極的に講じることを考えていますので、御協力方よろしくお願い申し上げます。

次に、オンライン申請の利用拡大についてお願いであります。

国の行政手続におけるオンライン申請の推進については、政府を挙げて取り組んでいるところでございますが、平成20年9月、政府は、新たなオンライン利用の抜本的拡大に向けた「オ

ンライン利用拡大行動計画」を策定し、その中で重点手続と指定された「登記」においては、オンライン申請率を平成25年度末までに71%以上に、登記事項証明書等については、平成23年度までに57%にするという目標値を掲げているところです。

さらに、本年2月には、今後予定される更なる申請件数の増加に対応するために、新しい「登記・供託オンライン申請システム」の運用開始が予定され、この運用開始により利便性の向上を目指しています。

本年も、私どもはオンライン申請率の数値目標に向け、同申請の利用拡大に努めていく所存でございますが、貴会員の皆様方には、率先して、同申請を行っていただき、この制度の普及に御協力をいただきたいと願っております。

また、地図情報システムにつきましても、平成18年8月に運用が開始され、当局では、昨年11月の高鍋出張所における導入をもって全庁で稼働しています。本年度、全国すべての登記所に地図情報システムが導入され、オンラインによる地図及び各種図面の証明書の請求も可能になる予定ですので、御利用いただきたいと思っております。

このように、法務局の所掌する登記行政につきましても、貴会員の皆様方の御協力が不可欠でございます。私どもは、国民に信頼され期待される行政機関として、今後とも最大限の努力をしていく所存でございますので、皆様方におかれましては、これまで以上の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、宮崎県土地家屋調査士会のますますの御発展と、会員の皆様方にとって、心身とも健やかに、希望と充実感を持って過ごせる年となられることを心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。





新 年 の 挨拶

宮崎県公共嘱託登記土地家屋調査士協会

理事長 土屋 洋二

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、それぞれに思いを新たに新年をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。

また、会員の皆様、公嘱協会社員の皆様には協会の事業・運営につきまして、ご理解とご協力を頂いておりますことに対しまして、厚く御礼申し上げます。

本協会は昭和61年2月5日、民法第34条の規定により許可され、25周年を迎えました。これまで、宮崎地方法務局のご指導の下、先輩土地家屋調査士の努力により、不動産に係る国民の権利の明確化に寄与するものとしての適切な業務処理と組織としての実績が官公署からその有益性・有用性が認められ、これまで信頼を構築して参りました。

昨年は、4月に発生した口蹄疫によって、畜産農家の方々をはじめ、業界・業種を問わず、本件の経済に甚大な被害をもたらしました。ただ、全国各地から多くの方々の暖かい支援を頂き、人の優しさに感動を覚えました。また、新年から河野新知事が就任され、口蹄疫後の復興と腰を据えた県民との対話を目標とされており、宮崎県発展への舵取りを期待致しております。

さて、平成20年12月1日、公益法人制度改革関連三法が施行され、2年1ヶ月余りが経過し、残すところ、2年11ヶ月となりました。

昨年末までに全国で、沖縄・熊本・福島各協会が各県の公益認定審議会事務局に移行認定の申請手続きを提出していますが、各県事務局の担当者が土地家屋調査士法第64条業務の公益性事由についての判断に苦慮され、審議会上程が延び延びになってきました。

昨年12月22日、法務省民事局民事第2課より、土地家屋調査士制度について、とりわけ、公嘱協会が行う業務が官公署からの受注であるため、直接の受益者が官公署であるかのような誤解を与えやすいが、その事業の性質上、受益者は不特定多数の国民と観念し得るものである等の文書を内閣府公益認定委員会事務局に提出され、同事務局から各都道府県担当者に通知されたものです。漸く、私たち協会が訴えてまいりました土地家屋調査士業務及び公嘱協会設立根拠が土地家屋調査士法第63条で設立された公嘱協会が行う64条業務は公益性があり、公共事業の前提となる権利関係の明確化に寄与しているとの主張に県の担当事務局の理解が得られるものと、暗闇の中に一条の光明が射してきたと思います。

本協会では第25回通常総会にて、定款・規則の承認を頂きました。社員の皆様のご理解と、この作業に携わって頂きました公益法人移行準備委員会の皆様には深く感謝申し上げますと共に、今後の移行申請手続へのご協力をお願い申し上げます。

平成22年は、大きな事業として宮崎地方法務局局計画による不動産登記法第14条第1項に規定する地図作成作業を実施しております。この作業は宮崎市本郷一丁目・二丁目・三丁目、希望ヶ丘一丁目・三丁目の一部、大字本郷南方の一部33万㎡について、地図混乱地域に指定された地区の地図作成に携わっているものです。1月7日より3日間、現地事務所において縦覧を実施しております。また、22年度から23年度に渡る事業として、宮崎市大字本郷南方の一部、本郷北方の一部、希望ヶ丘三丁目、30万㎡について受託致しました。この作業は一年目作業と

して、基準点測量、実態調査を実施し、二年目作業は、一筆地調査、細部測量、地図作成を実施するもので、平成24年2月29日までに成果品を納入するものです。これまで、これらの事業に宮崎地方法務局長を始め、登記官の熱意と積極的に参加された宮崎支所社員の地図作成に対する力強い意志と土地家屋調査士としての使命感の元に作業規程に基づく工程を完了し、素晴らしい成果を収めている状況であります。

一年間を通して携わっておられる社員の皆様に敬意を払うものです。

広範囲において、多数の土地家屋調査士が組織的に地図混乱地域の地図を整備することにより、所有権の範囲を明確にし、不動産取引の安全を図るという点において、まさに不特定多数の者の利益の増進に寄与しているものです。

改めて、公益目的事業を再確認するならば、各地域の地図・地籍に関する慣習や特徴を把握している土地家屋調査士がその専門的能力を結合することによって、地図や地図に準ずる図面の基本となる道路・水路並びに公共用地の嘱託登記若しくは登記に必要な調査・測量を迅速・適正且つ均一に業務を行い、その結果が国民の不動産に係る権利の明確化により、合理的に寄与することです。

今年も自ら行っている土地家屋調査士業務、公嘱業務そのものが公益に資していると認識を強く持って業務に当たって頂きたいと希望致します。

土地家屋調査士を取り巻く環境は大変厳しい状況ではありますが、今年も協会運営につきまして、皆様方のさらなるご支援とご協力をお願い致します。

最後になりましたが、会員の皆様にとって心身とも健やかに希望に満ち溢れる一年となれることを祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

理 事 会 抄

第3回理事会議事録

1. 日 時：平成22年9月17日（金）
午後1時30分～午後5時
2. 場 所：調査士会館3階会議室
3. 出席者：蓑原会長、鎌田・谷口・児玉各副会長、松崎・嶋田・佐藤・後藤・崎村・徳田各常任理事、井上・道久・高木・成田各理事、武藤監事
4. 議 題
 - (1) 地籍シンポジウム2010全国大会参加者確認
 - (2) 全国一斉表示登記無料相談会について
 - (3) 23年度鑑定委員候補者推薦について
 - (4) トラバース会日程について
 - (5) 宮崎県会研修会について
 - (6) 六士会なんでも無料相談会人選について
 - (7) 業務・会計中間監査日程について
 - (8) 年計表様式変更について

第4回理事会議事録

1. 日 時：平成22年12月3日（金）
午後1時30分～午後5時
2. 場 所：調査士会館3階会議室
3. 出席者：蓑原会長、鎌田・谷口・児玉各副会長、松崎・嶋田・佐藤・後藤・崎村・徳田各常任理事、井上・道久・高木・成田各理事
4. 議 題
 - (1) 第1回研修会総括
 - (2) 60周年記念PR看板設置について
 - (3) 六士会なんでも無料相談会総括
 - (4) 宮崎銀行借入金金利変更契約承認伺いの件
 - (5) 第6回ADR特別研修受講者報告
 - (6) 国の出先機関原則廃止について議員団訪問の件
 - (7) 年末年始スケジュール
 - (8) 平成23度表彰対象者候補選定について

平成22年度 宮崎地方法務局との業務協議会

日 時 平成22年11月12日（金）

9時00分～11時30分

場 所 宮崎地方法務局 2階会議室

出席者 宮崎地方法務局

原総括登記官、野北表示登記専門官、
脇山表示登記専門官、斉藤表示登記
専門官

宮崎県土地家屋調査士会

谷口和隆（副会長）、児玉勝平（副
会長）、鎌田隆光（副会長）、佐藤
守三（業務部長）

（追加協議）

日 時 平成22年12月 8 日（水）

16時00分～16時30分

出席者 宮崎地方法務局

原総括登記官、脇山表示登記専門官、
斉藤表示登記専門官

宮崎県土地家屋調査士会

谷口和隆（副会長）、鎌田隆光（副
会長）、佐藤守三（業務部長）

【 協 議 事 項 】

1. 地図情報システムについて

(イ) 広大な土地の公図を請求した場合、地図情報システムでは何枚にも分かれて表示されるため、どこで接続するのか？隣接地はどこになるのか？非常に解りにくい。

縮尺調整した、全体が表示されたものを交付できないでしょうか。九州内の他県では全体図として交付されている所もあります。

【回答】窓口で個別に相談して、縮小したものを出すようにする。 但し、縮尺の指定は出来ない。

(ロ) 窓口で閲覧して全体図を依頼した場合は、最初に出ている公図（何枚にも分割されているもの）は全体図と引き替えに返却する

のでしょうか。

もし返却をしないといけないのであれば、原図を取得できないこととなり閲覧したことにはならないことになります。

【回答】地図情報システムに登録された電子地図の証明書を作成する場合において、証明書の請求対象である土地につき、登記官が電子地図と同一の縮尺で証明書の印刷をすることが相当でない認めたときは、請求人の意思を確認した上、縮尺を変更して出力することも可能である。

この場合には、証明書の補記事項として「地図の縮尺は何千分の 1 ですが何千分の 1 に変更して出力しています。」と記載される。

（記載例 地図の縮尺は 1000分の 1 ですが2000分の 1 に変更して出力しています。）

閲覧用に出力されたものについても同様である。

差し替え（原図返却して縮尺変更のものを受領）であれば500円納付

両方必要であれば別々に請求して1000円納付

(ハ) 事務所のパソコンを利用して、オンラインで取得した場合も全体図は無料で交付してもらえますか。

【回答】できない。

(ニ) 縮小した図面だけではなく拡大した図面も閲覧できるそうですが、提供できる縮尺をお示し下さい。

【回答】等倍、1/2倍、1.5倍、2 倍

（例原図 1/500の場合、1/250 、1/750 、1/1000）

2. 地積測量図の写しの交付について

登記情報提供サービスにおいて、全部ではないのかもしれませんが国土調査実施前の地

積測量図が取得できないものがあります。

また、国調地区以外のところでも古い地積測量図が取得できないものがあります。全て交付できるようにして頂けませんか。

【回答】国土調査実施前の古い地積測量図については、地図管理システムのスキャン対象になっていないので、窓口での閲覧または証明で対応する。

地図管理システム入力後（地積測量図スキャン済の場合）に国土調査があった場合の地積測量図については、窓口請求にて取得できる。

地積測量図の横伸びについて

測量図情報の一部に横延びした測量図があるのはご承知のとおりです。この分に関して閉鎖（？）測量図の写しを請求することは可能でしょうか？

【回答】原本をもって来ていただければ、窓口で個別相談して出すようにする。

（認証文は付かないが、原本を補充するものとして出す。）

3. オンラインでの謄本請求について

オンラインで謄本請求した場合、登記所の事情にもよると思われますが、到達確認表にある到達日時は、何時まで請求すれば、当日発送が可能でしょうか。

【回答】本局では、その日の状況にもよるが郵便集配の時間から考えると午後3時までなら確実に当日発送できる。

他局においては、集配時刻が異なるので、個別に協議してほしい。

但し、入金確認及び発送準備、多数の通数請求等もあり、全国からの請求にも対応しており当日発送が出来ない場合も考えられるのでご了承頂きたい。

オンライン請求して窓口に取りに来られる場合も、少しの時間の余裕を頂きたい。

4. 土地分筆における「特別な事情」について

隣接地との筆界確認が不調となり、一部の筆界が決定できない土地の分筆を差引計算して申請したところ却下になったとの報告が会員からありました。

平成12年及び平成17年に、法務局と調査士会でそのような場合の地積測量図の書き方まで協議をしています。法務局では過去の協議事項の引き継ぎはどの様にされているのでしょうか。

【回答】基本的には平成12年及び平成17年の協議に変更はないが、安易な考えでの処理は困るので、特別な事情及び過誤分筆が生じない旨の心証を得られる様な資料等（重ね図等）を添付して登記官と事前に協議してもらいたい。

5. 地図訂正について

地図訂正が必要と思われる場合の登記申請にあっては、申出地以外の隣接関係地についても地積測量図を提出しなければならないこととなっていますが、一方当事者からの登記依頼が殆どで隣接関係地まで確定することは現実的に難しく、従前の説明では規則第16条第15項により職権による地図訂正の処理も可能であるとの回答を得ていたが、この取扱いは今後も可能でしょうか？

【回答】現地と地図と測量図が合致していることが原則であるので、合致していない場合は、土地家屋調査士として土地所有者に十分説明し地積更正等出させるように努力してもらいたい。しかし、いろいろなケースも考えられるので、登記官と事前に協議してもらいたい。

6. オンライン申請での地図訂正は何故できないのでしょうか？システム上の問題でしょうか教えて下さい。

【回答】地図訂正申出については、職権発動を促すことになるのでオンラインでの申請

はできない。(受付が一般の申請とは異なるため。)

7. 近傍に基本三角点等が存在しない場合の NET-RTK-GPS (VRS・FKP) 測量による地 積測量図の作成について

地積測量図への世界測地系としての記載は可能でしょうか。

【回答】法務局では、各個人の記載に任せている。

VRS・FKPに関連して

電子基準点を利用して測量をした場合には既存の基準点等(国調図根点、基準点など)と大きく違う場合があります。また、国土調査図面などは最初から回転、平行移動していて、近くの三角点等から測量すると全く違うものもあります。

この場合には、図面と実測値を合致させるために実測値をヘルマート変換等をして図面の座標系に合わせるやり方と、実測値はそのまま出して分筆には地形図を提出するやり方がありますが、どちらの方法がいいと思われますか。

【回答】実測値をずれている地図に合わせるためヘルマート変換する必要はないと考える。

法務局でも国土調査による地図については、地図管理システムになってからは各筆点の座標は把握できる状態になっている。(ずれについて報告してもらえば、実測値で処理できる。地形図もしくは測量図どちらでも分筆に対応できる。)

8. 法務局 14条地図作成業務について

単価があまりにも安すぎます。これでは、地図作成に係わる会員が減少するのでは。単価を上げることは出来ないのでしょうか。

【回答】法務局へ伝えた。

9. 不動産調査報告書について

会員からの報告

宮崎土木事務所から道路拡幅に伴う調査、測量を依頼され地積測量図、調査報告書を納品し、宮崎土木事務所が登記嘱託を行ったのですが、調査報告書に不備があり補正をしたところ、調査報告書に土木事務所の担当者の印が押印してありました。法務局窓口で問い合わせたところ法務局が押印をするように指示をしているとのことでした。

事実であれば調査報告書の意義を理解していないと思いますが、そのような指導をされておられるのですか。

【回答】法務局内で事実確認をした。

以前の土地実地調査書と不動産調査報告書との違いについて勘違いをしていたものである。土地実地調査書と不動産調査報告書とはあくまで違うものであることを説明し、不動産調査報告書の作成者は規則で土地家屋調査士しか書けないこと、また補正の対象ではないことを説明し、表示係職員で意思統一を確認した。(不動産調査報告書は登記官の心証を高めるものである。ただその中に重大な誤りがある場合には、電話して訂正してもらうことがある。)

年男に聞く



ああ～還暦

日向支部 安田 稔

あけましておめでとうございます。
皆様方には輝かしい新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

私は、今年がいよいよ人生の一巡り、還暦を迎えます。土地家屋調査士を開業して30年、このような原稿の依頼を受けるまで、自分の人生の歩みを振り返る事無く、ただただ走り続けてきました。いい機会を与えて頂いたと前向きにとらえ引き受けました。

私が、土地家屋調査士へとつながる方向を変えた初めのきっかけは、なんと、手相占い師の言葉でした。若き私は素直でした。23歳の時、宮崎の繁華街をたむろしていた時に、手相を見てもらったところ、「あなたは一度県外に出なさい。」と言われすっかりその気になった私は、それまで勤めていた会社を辞め、一念発起、熊本県の九州測量専門学校に入学しました。

そこに、測量を学ぶ仲間の一人に、土地家屋調査士の試験を目指している人がいたのです。いろいろと話を聞くうちに、耳慣れない「合筆」「分筆」「地目変更」などの言葉に出会いました。その出会いに影響を受けた私は、卒業後、福岡県の土地家屋調査士事務所で補助者としてお世話になりながら資格を目指しました。3回目の挑戦で無事、合格を果たし、1年後地元に戻り、昭和55年、29歳で土地家屋調査士事務所を開業することができました。当時は補助者もおらず、測量にはもっぱら、70歳を過ぎた父を引っ張り出していました。二人で鋼巻尺を「もっとひっぱれ」「これ以上ひっぱれん」とよく現場で、今は亡き父とやりあっていた事を思い出します。

「本当に申し訳なかった」この年になって、今があるのはまわりの助けがあってこそだと思ふと、ただただ反省と感謝しかありません。

最近この業界もどんどん進化し、その変化の速さについて行くのに一苦労しています。これからも一応ガンバレ、ガンバレです。

家庭においては、頼もしい（少々うるさい）補助者を兼ねる妻と、一男二女がおります。上の二人は社会人となり、末の娘が大学4年生になります。まずは幸せな家庭が築かれていると自負しています。

社会では還暦＝定年退職を迎えますが、私達にはそれが無い。有難い事と受け止め、これからもひとふんばりして、土地家屋調査士の仕事が天職だったと思える様、感謝を忘れず、精進していきたいと思ひます。今後ともご指導よろしくお願い致します。

◆年男（うさぎ年生まれ）の皆様◆

・昭和14年生まれ

牟田順一（宮崎支部） 黒木憲三（宮崎支部）

・昭和26年生まれ

川越和秀（宮崎支部） 三浦英男（宮崎支部）
宮本 昇（宮崎支部） 藤山幸博（宮崎支部）
橋口幸治（児湯支部） 蓑原照光（都城支部）
緒方一義（都城支部） 岩元正昭（都城支部）
道久弘美（都城支部） 安田 稔（日向支部）
小林祥治（日向支部） 豊島景三（延岡支部）

・昭和38年生まれ

後藤泰孝（宮崎支部）

・昭和50年生まれ

森 透（宮崎支部） 山崎勲一郎（宮崎支部）

県会トラバース会 ゴルフコンペが 開催されました



平成22年11月20日（土）愛和宮崎ゴルフクラブに於いて、県会トラバース会ゴルフコンペが開催されました。総勢27名の腕自慢が好プレー珍プレーを交え、熱い戦いを繰り広げました。

前日、また当日の朝早くから準備をいただいた宮崎支部の皆様、大変ご苦労様でした。ありがとうございました。

成績は以下のとおりです。（敬称略）

優勝 岩野辰也（児湯支部）

G：102 N：72.0

2 位 後藤泰孝（宮崎支部）

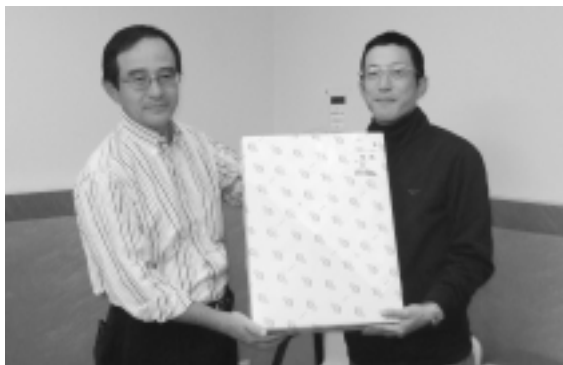
G：104 N：72.8

3 位 鎌田隆光（宮崎支部）

G：103 N：73.0

4 位 鬼塚一郎（小林支部）

5 位 柏田芳美（日向支部）



全国一斉表示登記 無料相談会が 実施されました

平成22年10月9日（土）、県下6会場に於いて、表示登記制度創設50周年、土地家屋調査士制度制定60周年を迎えたのを記念して、各法務局、地方法務局の協力を得て、「全国一斉表示登記無料相談会」が実施されました。

相談数としては、全国的に少なめだったようですが、全国の土地家屋調査士が、法務局の職員の方々と合同で相談会を実施するという画期的な事業が実現でき、大変有意義ではなかったでしょうか。

当日、相談員等にご協力いただいた皆様、大変ありがとうございました。

なお、各会場の相談件数は以下のとおりです。

イオンホール（宮崎市）	7 件
都城コミュニティセンター	1 件
延岡総合文化センター	16件
森永貞一郎記念館（小林市）	1 件
日南市生涯学習センター	0 件
高鍋中央公民館	3 件



なんでも生活無料相談会



日 時 平成22年11月27日(土)

午前10時から午後4時

場 所 (宮崎) 宮崎市民文化ホール
(延岡) 延岡市社会教育センター
(都城) 都城市コミュニティセンター
(川南) トロントロンプラザ

宮崎県専門士業団体連絡協議会(六士会)主催による、毎年恒例の生活無料相談会に土地家屋調査士会も参加しました。

今年は例年の3会場に加え、口蹄疫の相談に応じるため、川南会場を増やし、県下4会場での開催となりました。

当日、相談員としてご協力いただいた皆様ありがとうございました。



平成22年度 ADR特別研修認定調査士 合格者

古 川 人 司
岩 野 辰 也
山 崎 勲一郎
石 山 淳 二
小 西 俊 一
江 藤 邦 仁

おめでとうございます。

新入会員紹介



入会のごあいさつ

宮崎支部 岩切 謙一

はじめまして。このたび宮崎会に入会し事務所を開設しました岩切謙一と申します。これまで長らく補助者として勤めていましたので、顔だけは知っている方もいるかと思います。

自己紹介させていただきますと、出身は宮崎市で歳は40歳、独身です。趣味はパソコン・写真・自転車です。パソコンは小学五年生の頃には電器屋の店頭でさわりはじめ、高校でポケコン、仕事についてからは14台購入・作製と自分でも十分マニアだと思っています。そのおかげで事務所開設にあたりパソコン関連は特に困ることはありませんでした。

この仕事についたきっかけは、鹿児島の測量学校での就職活動中に見つけた新聞の求人欄での補助者募集でした。採用して頂けたものの、最初は登記簿も字図も地積測量図も知らず、そもそも法務局がどんな役所なのかも知らなかったのですが、同じ事務所の先輩方の御指導もあり、徐々にいろいろなことを覚えていきました。

その頃からすると今資格を持ち事務所を開設していることは感慨深いものがあります。とはいえ、開業したところからがまたスタートだったのだと、研修会に参加したり、いろいろな方のお話を聞くたびに感じています。

この文章を書いている時点で開業から2ヶ月半が過ぎました。業務の方はまだ忙しいとは言えませんが、学ぶべき事は山ほどあり、それを自分の内に取り込むだけで一日過ぎていきます。

当面の目標は業務をきちんとかなすこと。その上で調査士として信用・信頼を得られるよう努力していきたいと考えています。

それでは、先輩方今後とも宜しくお願い致します。



思い出の事件

— あの日の時 —

都城支部 魚矢 隆文

「足が生えた金属鋌」

私の開業地である都城地区は、昭和30年代からの国土調査地域が市街地周辺に広がる。

調査年度が古く、開業当初は光波測距儀もなく、復元に大変な苦労を強いられた。地図の精度も悪いうえに、距離はテープなので、復元をしても疑心暗鬼にさいなまれながらの仕事が多かった。その後、光波が一般的になり、幾分は効率よく作業ができる時代になり平成を迎えたそんなある日の事件である。

その日、半年ほど前に分筆測量及び登記を完了した土地の、再度の分筆依頼の為に現地に着した。残存する引照点に光波を設置し、今回の新点を逆打ちするべく、まず道路と隣接民地の境界を兼ねたアスファルト上の金属鋌の確認を初めたのである。ところが半年前に設置した金属鋌が光波から覗くアスファルト上にはなく、50cmほど離れた場所にその鋌はあったのである。「間違った」そう気がついた瞬間、動悸がしたのを今でも憶えている。

隣接民地とは立会いも完了している。しかも、まだこの民地には、道路から奥に向かってあと2本の境界標を設置していたのである。ドキドキしながら偶然いた隣接地所有者に断って奥2本の境界標の確認をしたのである。すると次のプラ杭も50cmほど移動していた。

「こりゃやっちゃったぁ。どうやって処理しようか」と考えながら、再度、光波のレンズを覗いた。すると半年前の記憶がよみがえってきた。引照点から逆打ちをする際に1本の小さな直径10cmほどの木が打ち込む際に非常に邪魔になり、枝を落としながらの作業であったのである。その記憶が甦りながらレンズを覗いていると、今見えている光景はその小さな木の向こう側にプラ杭があるではないか。頭の中に数100個の「?マーク」が浮かんできた。「なんで向

こう側なの???木のこちら側に打ったんじゃないかな???えっ木が動いた???いやそんなこたぁねぇな???ん?なんで???」

数分間そんな風に?マークが浮かんでは、それを打ち消し、出た答えが「境界標が移動してる…」誰が動かしたかはあえて言う事はない。すぐさま先ほどのアスファルト上に打設した場所に戻り、再度、光波を設置。逆打ち計算書で半年前の位置を割りだした。その場所に這い蹲り、小さなピンでアスファルトを突いたのである。するとそこには砂で埋もれてはいるがピンが入り込む穴がしっかり残っていたのである。すぐさま偶然いた隣接者を呼び出し、「すみませんもう一度、境界の確認をお願いします。不思議な事にこの境界標として設置した金属鋌には足が生えているらしく、半年前打った場所から、ここまで歩いております。当初の場所に設置しなおしますので確認ください」そう話しながらピンを抜き、「以前打設した場所の穴」に金属鋌を打ちなおしたのである。この説明の間にも隣接者は「そうなんですか。わかりました。」とそれだけの言葉。「奥にあるプラ杭も歩いているみたいなので打ち直しますね」と話しても「わかりました」だけの返事であった。何を言いたいかは根拠がないので、あえて書かないが、その日は嫌な気分を残しながら、現場をあとにした。帰りの車中では「もし再分割の依頼がなかったら、俺のミスとして禍根を残したのかぁ。」そう思うと無償に腹が立った。それにしても「土に打ったプラ杭ならまだしも、アスファルト打設の金属鋌に足が生えて歩きだす事」この事実を皆さんはどうお考えになるでしょうか。現在では画像を残す作業も一般的になったが、こんな風に勝手に打ち直された場合の対処をどうするか。皆さまどうお考えになるか。おぉ〜怖っ!



近 況 雑 感

都城支部 城脇 一男

一昨年、還暦を機に友人から誘われてシニアソフトボールクラブに加入した。しかしながらそのチームはレベルが高く、皆野球・ソフトの経験があるとはいえ、なかなかついていけない気がした。私は一年間の練習生を申しでて練習に励み、ようやく今年試合に出られるようになった。

ソフトボールは走攻守のゲームである。バッターとしては少し打てるものの足が思うようにいかない。ライト前のヒットになるはずの球が一塁でアウトになることもざらである。選手は60歳以上が原則だからエラーや珍プレーも多い。しかし、本当にソフトボールが好きなのだろう。月1回の公式試合に備え、毎週日曜日は猛練習をする。なかには最高75歳の人もある。私は健康の為に入部したわけであるが唯一やっかいなことがある。必ず試合後に反省会と称する「飲んかた」があるからだ。もともと酒好きの私は毎回出席する。そのおかげで1年で3kg太ってしまった。練習後のビールも格別である。この事を猛省しなければ健康の為に始めたソフトボールは大誤算である。

また、私はほかに最近多くの人を楽しんでいる生涯スポーツのひとつである「ミニテニス」も以前より励んでいる。風船玉より少し硬いボールをテニスの要領で競技する。私は、「城の会」と言うクラブを作りその監督である。十数人が毎週1回練習して数多くの大会に参加する。現会長の蓑原照光さんの奥さんも会員の一人である。昨年は広島全国大会に出場し、ダブルスの決勝まで進出した。ほとんどが50歳から70歳までの人で楽しんでいる。夫婦大会もあり、妻と一緒に出場するがなかなか思うようにいかな

い。家でもテニスコート内でも太りすぎて体が動かないなどいつもぶつぶつ言われている。

さて、最近ゴルフも急速に飛距離が短くなってきている。連れの人が2打目をアイアンで構えているのに、いつも私は後方から2打目を3番ウッドでねらっている。ほんとうに惨めである。クラブのせいではと昔から言われるが元来のケチでなかなか新品を買う勇気がない。チョコレートは取られっぱなし、最近はやめようとも思っている今日この頃である。バブルの時代にゴルフ会員権を借金して買ったがその大金が今は紙切れ同然である。妻に無駄使いするなと言うとあの会員権は何なのと逆に嫌みを言われる始末である。

最後に土地家屋調査士会の話にふれると、私は40年代の平板測量の時代に入会した。当時は都城市の会員でトランシットを持っている会員は皆無だったような気がする。カーボン紙で複写した申請書を提出した。図面は定規で当て、丸ペンで書いた。公簿の証明書も手書きをして読み合わせ、交付を受ける時代である。

支部事務局の設置・公嘱協会の設立・会館建設とかかわり、又司調会ソフトクラブを結成し数多くの大会に出場した。ユニフォームを3回替え、宮日の県大会にも出場した記憶がある。本当に走馬燈のごとしである。

そうした中で、会はその後の役員の尽力により技術的にも組織的にも飛躍的な発展を遂げ、今日に至っていることは本当に喜ばしい限りである。今、又多くの課題をかかえているようにも思えるが更なる発展を希望するものである。

論 壇



公嘱事件の入札問題 について

公嘱協会監事 竹下 盈紘

このところ国関係の入札事件において宮崎県公共嘱託土地家屋調査士協会（以下協会という）が他県の調査士や一般社団法人に敗れる事件が相次いでいる。協会と会員及び一般社団法人は法的には同じ地位に立つもので今さら入札競争についてアレコレ言うつもりはないが、気がかりなことは落札金額がおそろしく低額であることである。ご承知のとおり公嘱料金は一般料金より2～3割低額で、言わば採算抜き金額で契約されてきたものである。それをはるかに下回る超低額で落札して正常な処理が可能なのであろうかと懸念するところである。処理の遅滞や未処理等によって発注官庁の信頼を失うような事態が生じれば、彼らのみならず協会を含めて調査士業界全体に影響が及ぶであろうことが予測される。そのような事態に至らぬよう宮崎県土地家屋調査士会（以下本会という）として厳しく監視する必要があると思われる。所属会と連絡を取り合い事態によっては監督法務局へ告発の手続きを取るなどの態勢を整えておく必要があると考える、が如何？

ところで先般の協会定時総会において社保庁関係入札に際し協会と本会の会員（協会の社員でもあるらしい）が競合した結果、会員が落札した件で議論があった。先述したとおり一般会員が協会と競合することは許容されることではあろうが、協会の社員であったということになればいささか許容の範囲を逸脱することになる。調査士法および協会定款において協会と社員間の競合禁止の規定条文はないが、これは親子・兄弟間において取り合いの喧嘩をしてはならないとの法規がないと同様に、法律以前の道理であるからに他ならない。協会の社員は民間会社の雇用契約による会社員とは全く異なる。入会金および会費を出資して協同して協会の運営にあたる責務と共に受託事件の配分を受ける

権利を有する共同体の構成員そのものである。協会と社員が競合することは正に骨肉の争いということで決して許されることではない。他を差し置いて仕事の受託を希望するのであれば協会を脱したうえで一般会員として応札すべきが道理であるとする、が如何？

あれもこれも貧すれば鈍するというが人としての道義のわきまもないのであろうか。

「君に問う士の志ありやなしや、志あらずんば士を標榜することあたわず」

新局長紹介

局長 岡本日出男



1月4日より前任の荒武局長から引き継ぎました岡本日出男と申します。よろしくお願いいたします。

簡単に自己紹介をいたします。昭和27年4月延岡市白石町で生まれました。川島小、東海中、都城高専（電気）、旭化成延岡、大阪転勤、平成18年早期退職後、国富町の病院勤務、職業訓練を経てこちらにお世話になることになりました。業務は毎日知らない事の連続です。新しいことを覚えないといけないので大変ですが、充実しています。皆さんの顔と名前を覚えるのが一番大変です。

家族は3人の子供が皆独立し、妻と2人で浮田に住んでいます。孫2人の里帰りを楽しみに頑張っています。趣味は修理です。職業訓練で電気2種、危険物乙4、消防設備甲4の資格をとりました。専門はコンピュータです。パソコン（EXCEL、WORD、ACCESS、VB、VBA、ORACLEなど）は少しわかります。FileMakerは勉強中です。C言語その他のはわかりません。Linuxは簡単な操作ができます。酒はエタノール換算で100mlが限度です。酒の種類は問いません。ゴルフ、囲碁、将棋はしません。麻雀は下手です。

皆様のお役に立てるよう頑張りたいと思います。力不足の点があるかもしれませんが、今後ともご指導の程よろしくお願い致します。

会 務 報 告

日 付	曜 日	件 名	概 要
4. 1	木	登記無料相談(～8)	垂れ幕掲示
3	土	A D R 特別研修考査	
5	月	工藤聡新宮崎地方法務局長挨拶来局	荻原会長他
10	土	川村秀三郎・外山一斉国会議員事務所訪問	荻原会長他
14	水	第1回常任理事会	22年度総会議案
16	金	21年度県会業務・会計監査	荻原会長・谷口副会長・嶋田財務部長／藤井・武藤監事
23	金	第1回理事会	22年度総会議案
24	土	松下新平国会議員事務所訪問	鎌田副会長・後藤泰孝常任理事・佐藤守三理事
5. 21	金	第55回定時総会	総会／川村秀三郎衆議院議員出席
24	月	宮崎県行政書士会定時総会	荻原会長
28	水	第1回A D R 運営委員会	現状の問題点と改正案について
29	土	宮崎県司法書士会定時総会	口蹄疫非常事態宣言を受け、議事審議のみ
31	月	口蹄疫被害義援金213,854円寄付	宮崎県土地家屋調査士会名
6. 5	土	第1回九B会長会議(沖縄)(～6)	荻原会長・児玉日調連理事
6	日	九B定時総会(沖縄)(～7)	鎌田・谷口副会長
10	木	第2回常任理事会	総会総括・22年度担当部長案
20	日	A D R 福岡勉強会	
23	水	日調連定時総会	荻原会長・谷口副会長
24	木	日調連定時総会・60周年記念式典	荻原会長・谷口副会長
29	火	第2回理事会	総会総括・22年度担当部長案決定
7. 1	木	口蹄疫被害義援金235,015円寄付	全国土地家屋調査士会有志一同名
5	月	日調連・全国県会へ口蹄疫義捐金お礼文発送 職務分掌規程改正案「理事会書面決議」(5条の2)発送	荻原会長名 会長・総務部長名
8	木	第1回広報部会	会報みやざき100号編集会議
9	金	口蹄疫義捐金28,187円寄付	長野県土地家屋調査士会ご厚志
15	木	第1回公嘱協議会	会長・3副会長・総務部長・社会事業部長
23	金	熊本会高木昭次名誉会長「双光章受賞記念祝賀会」	会長代理河野俊治顧問出席
24	土	第2回九B会長会議(熊本)	荻原会長
28	水	第1回A D R 常任運営委員会	富田センター長以下5名
29	木	「口蹄疫」非常事態全面解除報告御礼文発信 ／日調連・全県会	荻原会長名
30	金	福岡県会主催60周年記念事業(～8／1)	荻原・谷口・児玉・鎌田・後藤・嶋田・栗山
8. 1	日	九B広報担当者会同	後藤広報部長・嶋田常任理事
3	火	筆界特定制度に関する指導者養成研修会(～4)	徳田常任理事・若杉盛二会員
6	金	宅地建物関連四団体連絡協議会(四連協)／ 司法・行政・宅建・当会	児玉副会長
19	木	専門士業団体連絡協議会第1回打ち合わせ	後藤広報部長
27	金	第25回公嘱協会定時総会	荻原会長・湯地政連会長
9. 3	金	第1回A D R 「境界問題相談センター」合同勉強会	
12	日	福岡県会阿部熊光様「黄綬褒章」祝賀会	荻原会長
17	金	第3回理事会	法務局合同無料相談会外
21	火	筆界特定制度とADR相談センターとの連携に関する協議会	谷口・児玉・佐藤(守)・成田・徳田・富田・竹嶋
10. 3	日	地籍シンポジウム2010／土地家屋調査士全国大会inTokyo	荻原・谷口・後藤・嶋田
4	月	第1回全国会長会議	荻原会長
8	金	登録証交付式	荻原会長・岩切謙一会員
9	土	全国一斉表示登記無料相談会(法務局合同)	県内6カ所
13	水	第2回公嘱協会協議会	荻原・谷口・児玉・後藤・徳田
16	土	西都ひまわり基金法律事務所開設祝賀会	谷口・児玉副会長、吉野裕晴会員
17	日	日調連・ブロック業務部担当者会同(沖縄)	児玉日調連理事
17	日	九B各部担当者会同／業・研・A D R (沖縄)	児玉・佐藤(守)・谷口・崎村・鎌田・富田・竹嶋
18	月	第3回九B会長会議(沖縄)	荻原会長
18	月	九Bゴルフ大会(沖縄／ザ・サザンクロスGC)	井上・湯地・鎌田・荻原・崎村・後藤
22	金	第3回常任委員会	九B報告外
22	金	22年度県会業務・会計中間監査	荻原会長・児玉副会長・嶋田財務部長／藤井・武藤監事
11. 12	金	宮崎県地方法務局との協議会	谷口・児玉・鎌田副会長、佐藤業務部長
20	土	トラバース会	28名
21	日	第1回会員研修会／J A ・A Z Mホール	97名(内、佐賀・鹿児島各1)
25	木	第2回広報部会	
26	金	第2回A D R 「境界問題相談センター」合同勉強会	
27	土	公嘱事務促進協議会	荻原・谷口・徳田
27	土	専門士業団体「無料相談会」／宮崎・延岡・都城	
30	火	会員証・補助者証更新(5年単位)	
30	火	宮崎県議会訪問／法務局事務地方移管対応説明	荻原・鎌田・湯地・司法書士会
12. 3	金	第4回理事会	
4	土	川村衆議員事務所訪問／法務局事務地方移管対応説明	荻原・鎌田・後藤・湯地政連会長・長友司法書士政連会長
5	日	外山衆議員事務所訪問／法務局事務地方移管対応説明	鎌田・湯地
15	水	土地家屋調査士試験合格証交付式／宮崎県地方法務局	荻原会長
16	木	筆界特定制度とADRとの連携協議会／宮崎県地方法務局	谷口・徳田・富田・竹嶋・町元弁護士
28	火	法務局年末挨拶訪問	

…………… ≪ 会 員 の 動 き ≫ ……………

◎ 登録事項変更 (一般)

氏 名	変更事項	変 更 後
圖師健一郎	住 所	宮崎市城ヶ崎3丁目21番地6

◎ 退 会 者

年 月 日	氏 名	支部名	事由
22年 7 月31日	大塚 寛美	都城支部	廃 業

◎ 新入会員



岩切 謙一 イワキ ケンイチ 生年月日 昭和45年 6 月10日
 事務所 〒880-0841 宮崎市吉村町下り松甲2486番地 5
 TEL 0985-65-3655 FAX 0985-65-3655 携 帯 090-1927-4656
 e-mail dablue@movie.ocn.ne.jp
 入会年月日 平成22年10月 1 日 登録年月日 平成22年10月 1 日
 登録番号 773号 公嘱協会社員 兼 業
 自 宅 〒880-0841 宮崎市吉村町下り松甲2486番地 5
 TEL 0985-65-3655



杉山 宏樹 スギヤマ ヒロキ 生年月日 昭和52年 1 月 6 日
 事務所 〒883-0034 日向市大字富高6833番 8
 TEL 0982-57-3351 FAX 0982-57-3352 携 帯 090-8391-6300
 e-mail sugiyama.hiroki@snow.plala.or.jp
 入会年月日 平成22年12月 1 日 登録年月日 平成22年12月 1 日
 登録番号 774号 兼 業
 自 宅 〒883-0034 日向市大字富高6833番 8
 TEL 0982-54-7231



本村 正博 モトムラ マサヒロ 生年月日 昭和32年 9 月16日
 事務所 〒889-1911 北諸県郡三股町大字長田1945番地 1
 TEL 0986-52-6485 FAX 0986-52-6485 携 帯 090-3668-9228
 e-mail
 入会年月日 平成23年 1 月11日 登録年月日 平成23年 1 月11日
 登録番号 775号 兼 業 行政書士
 自 宅 〒889-1911 北諸県郡三股町大字長田1945番地 1
 TEL



小堀 正太郎 コボリ ショウトロウ 生年月日 昭和52年 9 月 7 日
 事務所 〒886-0004 小林市細野281番 1
 TEL 0984-23-6811 FAX 0984-23-6821 携 帯
 e-mail
 入会年月日 平成23年 1 月11日 登録年月日 平成23年 1 月11日
 登録番号 776号 兼 業
 自 宅 〒886-0004 小林市細野1482番地
 TEL 0984-22-4359

編集後記

年とともに月日が短く感じられ、アッという間の1年が更に短くなって驚くばかりである。とはいえ平成23年の幕が切っておろされた。今年はオンライン申請の大幅改正が始まり、私達土地家屋調査士にどんな明日が訪れるのだろうか？

昨年末に驚かされたのが、国の出先機関の原則廃止の政権公約に伴って法務局の登記業務が地方(市町村?)に移管されるという話である。日々登記業務に携わっている私達から見れば、都会地ではその業務が可能な市、若しくは区があることを否定するものではないが、宮崎県を含めて全国単位を考えた場合はそこに色んな脆弱性、危険性を感じざるを得ない。第2の年金記録ならぬ、登記記録問題さえ生じかねない話である。

反面、今の登記、特に表示登記制度が完璧であると言えないのが悲しいところである。明治20年前後に作られた更正図は、表面上はコンピューター化により綺麗になっても、所詮は124年前に作られたものである。昭和30年代に始まった地籍調査は50年以上を経ても日本全国を網羅するに至らず、平成地籍整備という新たな手法によりその完成を目指しているがその完成像は未知である。

私達調査士は、住宅の着工も、不動産の売買も減り、正に冬の時代である。でも、この表示登記の不完全な部分をそのままに、儲からない、食えないと云っている私達に出来ること、求められていることはホントに無いのであろうか？

冬の夜長を「ドラッカー」でも読んで、私達の顧客はどこにいるのか？何を買いたいのか？表示登記の、そして調査士制度のイノベーションについて考えてみよう。



美しい仕上がりに真心をこめてお客様へお届けします。

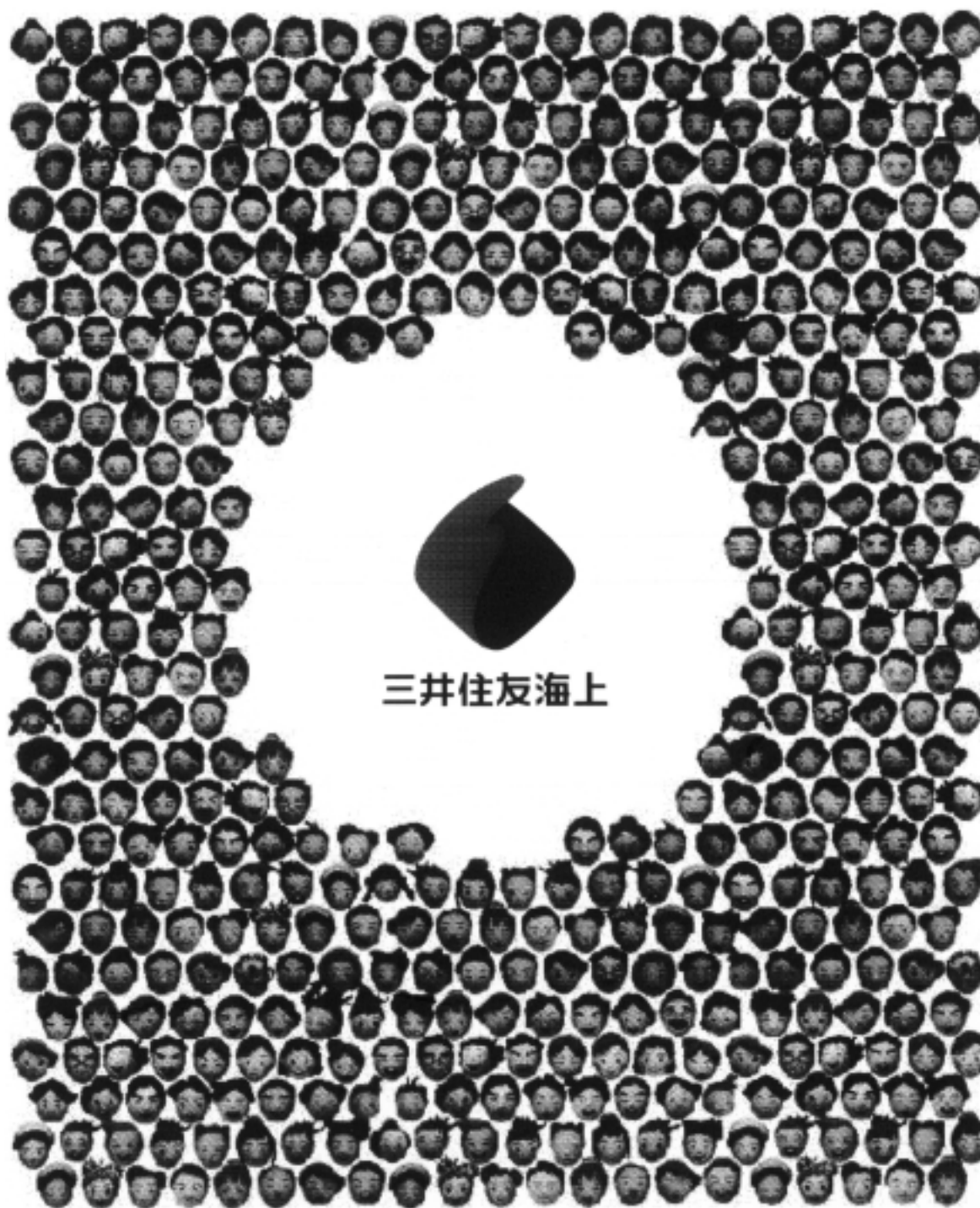
タイプ・タイプオフ・伝票・チラシ・その他印刷全般

宮崎市田代町 265 — 2

T E L 28 — 4353

F A X 31 — 1430

ひとりひとりに、最高品質の安心を。



www.ms-ins.com 三井住友海上火災保険株式会社

日本土地家屋調査士会連合会共済会取扱

損害保険ご紹介

数々の危険からあなたをお守りしたい
桐栄サービスの願いです

職業賠償責任保険

会員または補助者が業務遂行にあたり法律上の賠償責任を負い、損害賠償金を支払わなくてはならないときに役立ちます。

団体所得補償保険

保険期間中に病気・ケガによって就業不能となった場合、1 か月につき補償額をお支払いする制度です。(最長1年)

団体傷害疾病保険

保険期間中、国内外を問わず

- 1) 日常の生活におけるさまざまな事故によるケガを補償します。
- 2) 病気による入院を日帰り入院より補償します。

測量機器総合保険

会員が所有し管理する測量機器について業務使用中、携行中、保管中等の偶発の事故を補償します。

集団扱自動車保険

会員皆様の自動車はもとより補助者の方のマイカーも加入できます。

損害保険代理店 有限会社 桐栄サービス

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1 - 2 - 10 土地家屋調査士会館 6 階

TEL : 03-5282-5166

FAX : 03-5282-5166

上記のものは各種保険の概要をご説明したものです。詳細は弊社までお問い合わせをお願いいたします。

(有)クロキシシステム販売は信頼メーカー商品で
土地家屋調査士業務を支援します。

ライカ ジオシステムズ

Leica Geosystems

アイサンテクノロジー株式会社

WingNeo 7

ADST TECHNOLOGY CO., LTD.

Pocket-Neo

オンライン不動産登記申請支援ソフト
土地家屋調査士向け総合事務支援
登記事務支援システム
<不動産登記申請支援>

デジタルソフト

AT7000	AT7001	AT7002	AT7003	AT7004	AT7005	AT7006	AT7007
AT7008	AT7009	AT7010	AT7011	AT7012	AT7013	AT7014	AT7015
AT7016	AT7017	AT7018	AT7019	AT7020	AT7021	AT7022	AT7023
AT7024	AT7025	AT7026	AT7027	AT7028	AT7029	AT7030	AT7031
AT7032	AT7033	AT7034	AT7035	AT7036	AT7037	AT7038	AT7039
AT7040	AT7041	AT7042	AT7043	AT7044	AT7045	AT7046	AT7047
AT7048	AT7049	AT7050	AT7051	AT7052	AT7053	AT7054	AT7055
AT7056	AT7057	AT7058	AT7059	AT7060	AT7061	AT7062	AT7063
AT7064	AT7065	AT7066	AT7067	AT7068	AT7069	AT7070	AT7071
AT7072	AT7073	AT7074	AT7075	AT7076	AT7077	AT7078	AT7079
AT7080	AT7081	AT7082	AT7083	AT7084	AT7085	AT7086	AT7087
AT7088	AT7089	AT7090	AT7091	AT7092	AT7093	AT7094	AT7095
AT7096	AT7097	AT7098	AT7099	AT7100	AT7101	AT7102	AT7103
AT7104	AT7105	AT7106	AT7107	AT7108	AT7109	AT7110	AT7111
AT7112	AT7113	AT7114	AT7115	AT7116	AT7117	AT7118	AT7119
AT7120	AT7121	AT7122	AT7123	AT7124	AT7125	AT7126	AT7127
AT7128	AT7129	AT7130	AT7131	AT7132	AT7133	AT7134	AT7135
AT7136	AT7137	AT7138	AT7139	AT7140	AT7141	AT7142	AT7143
AT7144	AT7145	AT7146	AT7147	AT7148	AT7149	AT7150	AT7151
AT7152	AT7153	AT7154	AT7155	AT7156	AT7157	AT7158	AT7159
AT7160	AT7161	AT7162	AT7163	AT7164	AT7165	AT7166	AT7167
AT7168	AT7169	AT7170	AT7171	AT7172	AT7173	AT7174	AT7175
AT7176	AT7177	AT7178	AT7179	AT7180	AT7181	AT7182	AT7183
AT7184	AT7185	AT7186	AT7187	AT7188	AT7189	AT7190	AT7191
AT7192	AT7193	AT7194	AT7195	AT7196	AT7197	AT7198	AT7199
AT7200	AT7201	AT7202	AT7203	AT7204	AT7205	AT7206	AT7207
AT7208	AT7209	AT7210	AT7211	AT7212	AT7213	AT7214	AT7215
AT7216	AT7217	AT7218	AT7219	AT7220	AT7221	AT7222	AT7223
AT7224	AT7225	AT7226	AT7227	AT7228	AT7229	AT7230	AT7231
AT7232	AT7233	AT7234	AT7235	AT7236	AT7237	AT7238	AT7239
AT7240	AT7241	AT7242	AT7243	AT7244	AT7245	AT7246	AT7247
AT7248	AT7249	AT7250	AT7251	AT7252	AT7253	AT7254	AT7255
AT7256	AT7257	AT7258	AT7259	AT7260	AT7261	AT7262	AT7263
AT7264	AT7265	AT7266	AT7267	AT7268	AT7269	AT7270	AT7271
AT7272	AT7273	AT7274	AT7275	AT7276	AT7277	AT7278	AT7279
AT7280	AT7281	AT7282	AT7283	AT7284	AT7285	AT7286	AT7287
AT7288	AT7289	AT7290	AT7291	AT7292	AT7293	AT7294	AT7295
AT7296	AT7297	AT7298	AT7299	AT7300	AT7301	AT7302	AT7303
AT7304	AT7305	AT7306	AT7307	AT7308	AT7309	AT7310	AT7311
AT7312	AT7313	AT7314	AT7315	AT7316	AT7317	AT7318	AT7319
AT7320	AT7321	AT7322	AT7323	AT7324	AT7325	AT7326	AT7327
AT7328	AT7329	AT7330	AT7331	AT7332	AT7333	AT7334	AT7335
AT7336	AT7337	AT7338	AT7339	AT7340	AT7341	AT7342	AT7343
AT7344	AT7345	AT7346	AT7347	AT7348	AT7349	AT7350	AT7351
AT7352	AT7353	AT7354	AT7355	AT7356	AT7357	AT7358	AT7359
AT7360	AT7361	AT7362	AT7363	AT7364	AT7365	AT7366	AT7367
AT7368	AT7369	AT7370	AT7371	AT7372	AT7373	AT7374	AT7375
AT7376	AT7377	AT7378	AT7379	AT7380	AT7381	AT7382	AT7383
AT7384	AT7385	AT7386	AT7387	AT7388	AT7389	AT7390	AT7391
AT7392	AT7393	AT7394	AT7395	AT7396	AT7397	AT7398	AT7399
AT7400	AT7401	AT7402	AT7403	AT7404	AT7405	AT7406	AT7407
AT7408	AT7409	AT7410	AT7411	AT7412	AT7413	AT7414	AT7415
AT7416	AT7417	AT7418	AT7419	AT7420	AT7421	AT7422	AT7423
AT7424	AT7425	AT7426	AT7427	AT7428	AT7429	AT7430	AT7431
AT7432	AT7433	AT7434	AT7435	AT7436	AT7437	AT7438	AT7439
AT7440	AT7441	AT7442	AT7443	AT7444	AT7445	AT7446	AT7447
AT7448	AT7449	AT7450	AT7451	AT7452	AT7453	AT7454	AT7455
AT7456	AT7457	AT7458	AT7459	AT7460	AT7461	AT7462	AT7463
AT7464	AT7465	AT7466	AT7467	AT7468	AT7469	AT7470	AT7471
AT7472	AT7473	AT7474	AT7475	AT7476	AT7477	AT7478	AT7479
AT7480	AT7481	AT7482	AT7483	AT7484	AT7485	AT7486	AT7487
AT7488	AT7489	AT7490	AT7491	AT7492	AT7493	AT7494	AT7495
AT7496	AT7497	AT7498	AT7499	AT7500	AT7501	AT7502	AT7503
AT7504	AT7505	AT7506	AT7507	AT7508	AT7509	AT7510	AT7511
AT7512	AT7513	AT7514	AT7515	AT7516	AT7517	AT7518	AT7519
AT7520	AT7521	AT7522	AT7523	AT7524	AT7525	AT7526	AT7527
AT7528	AT7529	AT7530	AT7531	AT7532	AT7533	AT7534	AT7535
AT7536	AT7537	AT7538	AT7539	AT7540	AT7541	AT7542	AT7543
AT7544	AT7545	AT7546	AT7547	AT7548	AT7549	AT7550	AT7551
AT7552	AT7553	AT7554	AT7555	AT7556	AT7557	AT7558	AT7559
AT7560	AT7561	AT7562	AT7563	AT7564	AT7565	AT7566	AT7567
AT7568	AT7569	AT7570	AT7571	AT7572	AT7573	AT7574	AT7575
AT7576	AT7577	AT7578	AT7579	AT7580	AT7581	AT7582	AT7583
AT7584	AT7585	AT7586	AT7587	AT7588	AT7589	AT7590	AT7591
AT7592	AT7593	AT7594	AT7595	AT7596	AT7597	AT7598	AT7599
AT7600	AT7601	AT7602	AT7603	AT7604	AT7605	AT7606	AT7607
AT7608	AT7609	AT7610	AT7611	AT7612	AT7613	AT7614	AT7615
AT7616	AT7617	AT7618	AT7619	AT7620	AT7621	AT7622	AT7623
AT7624	AT7625	AT7626	AT7627	AT7628	AT7629	AT7630	AT7631
AT7632	AT7633	AT7634	AT7635	AT7636	AT7637	AT7638	AT7639
AT7640	AT7641	AT7642	AT7643	AT7644	AT7645	AT7646	AT7647
AT7648	AT7649	AT7650	AT7651	AT7652	AT7653	AT7654	AT7655
AT7656	AT7657	AT7658	AT7659	AT7660	AT7661	AT7662	AT7663
AT7664	AT7665	AT7666	AT7667	AT7668	AT7669	AT7670	AT7671
AT7672	AT7673	AT7674	AT7675	AT7676	AT7677	AT7678	AT7679
AT7680	AT7681	AT7682	AT7683	AT7684	AT7685	AT7686	AT7687
AT7688	AT7689	AT7690	AT7691	AT7692	AT7693	AT7694	AT7695
AT7696	AT7697	AT7698	AT7699	AT7700	AT7701	AT7702	AT7703
AT7704	AT7705	AT7706	AT7707	AT7708	AT7709	AT7710	AT7711
AT7712	AT7713	AT7714	AT7715	AT7716	AT7717	AT7718	AT7719
AT7720	AT7721	AT7722	AT7723	AT7724	AT7725	AT7726	AT7727
AT7728	AT7729	AT7730	AT7731	AT7732	AT7733	AT7734	AT7735
AT7736	AT7737	AT7738	AT7739	AT7740	AT7741	AT7742	AT7743
AT7744	AT7745	AT7746	AT7747	AT7748	AT7749	AT7750	AT7751
AT7752	AT7753	AT7754	AT7755	AT7756	AT7757	AT7758	AT7759
AT7760	AT7761	AT7762	AT7763	AT7764	AT7765	AT7766	AT7767
AT7768	AT7769	AT7770	AT7771	AT7772	AT7773	AT7774	AT7775
AT7776	AT7777	AT7778	AT7779	AT7780	AT7781	AT7782	AT7783
AT7784	AT7785	AT7786	AT7787	AT7788	AT7789	AT7790	AT7791
AT7792	AT7793	AT7794	AT7795	AT7796	AT7797	AT7798	AT7799
AT7800	AT7801	AT7802	AT7803	AT7804	AT7805	AT7806	AT7807
AT7808	AT7809	AT7810	AT7811	AT7812	AT7813	AT7814	AT7815
AT7816	AT7817	AT7818	AT7819	AT7820	AT7821	AT7822	AT7823
AT7824	AT7825	AT7826	AT7827	AT7828	AT7829	AT7830	AT7831
AT7832	AT7833	AT7834	AT7835	AT7836	AT7837	AT7838	AT7839
AT7840	AT7841	AT7842	AT7843	AT7844	AT7845	AT7846	AT7847
AT7848	AT7849	AT7850	AT7851	AT7852	AT7853	AT7854	AT7855
AT7856	AT7857	AT7858	AT7859	AT7860	AT7861	AT7862	AT7863
AT7864	AT7865	AT7866	AT7867	AT7868	AT7869	AT7870	AT7871
AT7872	AT7873	AT7874	AT7875	AT7876	AT7877	AT7878	AT7879
AT7880	AT7881	AT7882	AT7883	AT7884	AT7885	AT7886	AT7887
AT7888	AT7889	AT7890	AT7891	AT7892	AT7893	AT7894	AT7895
AT7896	AT7897	AT7898	AT7899	AT7900	AT7901	AT7902	AT7903
AT7904	AT7905	AT7906	AT7907	AT7908	AT7909	AT7910	AT7911
AT7912	AT7913	AT7914	AT7915	AT7916	AT7917	AT7918	AT7919
AT7920	AT7921	AT7922	AT7923	AT7924	AT7925	AT7926	AT7927
AT7928	AT7929	AT7930	AT7931	AT7932	AT7933	AT7934	AT7935
AT7936	AT7937	AT7938	AT7939	AT7940	AT7941	AT7942	AT7943
AT7944	AT7945	AT7946	AT7947	AT7948	AT7949	AT7950	AT7951
AT7952	AT7953	AT7954	AT7955	AT7956	AT7957	AT7958	AT7959
AT7960	AT7961	AT7962	AT7963	AT7964	AT7965	AT7966	AT7967
AT7968	AT7969	AT7970	AT7971	AT7972	AT7973	AT7974	AT7975
AT7976	AT7977	AT7978	AT7979	AT7980	AT7981	AT7982	AT7983
AT7984	AT7985	AT7986	AT7987	AT7988	AT7989	AT7990	AT7991
AT7992	AT7993	AT7994	AT7995	AT7996	AT7997	AT7998	AT7999
AT8000	AT8001	AT8002					

オフィスのトータルプランナー

複写機 OA機器 販売・保守
スチール・オフィス什器 販売



RICOH
ネットワーク対応 デジタルフルカラー複合機
imagio
MP C3300



東洋事務器株式会社

本社／
宮崎市柳丸町158番地
TEL(0985)25-8870代
FAX(0985)25-3298

国富支店
東諸県郡国富町大字宮王丸
TEL(0985)75-2928代
FAX(0985)75-4739

元気No.1

企業を目指します。

品質 ISO 9001 認証取得 環境 ISO 14001 認証取得

創造と開拓の心で 情報サービス業を目指します。



Printing



DTP



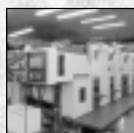
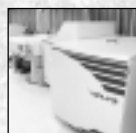
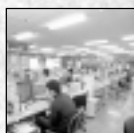
Multimedia



Design

あらゆる印刷物を取り扱っております。

パンフレット・カタログ・チラシ・ポスター・メニュー・リーフレット・取扱説明書・ポップ
DM・ハガキ・シール・名刺・封筒・ラベル・ロゴ制作・トレース・画像取り込み・画像編集
画像切り抜き・テキスト打ち・バナー広告(FLASH、アニメーションGIF等)・HTMLに
よるリンク形式のマニュアル、印刷物等・PDFによるデジタル印刷物・新聞・本・記念誌
自費出版・アルバム・PDF等のデジタル出版物。



株式
会社

文昌堂

印刷・出版・企画デザイン・ホームページ作成

●本 社／都城市東町18街区1号 TEL 0986-22-1121 FAX 0986-25-6408

●宮崎営業所／宮崎市東大淀一丁目1番16 ライトコート115号 TEL 0985-51-0566

URL <http://www.bunsho.co.jp>



境界に関する理論書の決定版。

境界の理論と実務

寶金 敏明 著

●境界問題について、体系的・網羅的に扱う唯一の書籍

これまであまり試みられたことのない、各種境界実務の横断的な把握と検討を実施。
土地境界の現地調査についてのみでなく、境界の生成過程、境界を紡いだ成果として作成される地図や図面などの精度、筆界特定制度や境界に関する裁判や協議など多くの事項について、それぞれの法律問題に立脚して言及。

A5判上製 608頁 定価5,985円(税込) 平成21年4月刊 ISBN978-4-8178-3815-5



土地家屋調査士制度の成り立ち～発展～現在を詳述。

土地家屋調査士講義ノート

七戸 克彦 著

●月刊「土地家屋調査士」に全8回にわたって連載された「土地家屋調査士のための法律学」を大幅加筆・修正。
●選りすぐりの論稿を、精緻な調査研究のもと、より詳細な解説を施し、分かりやすい文章で再構築。
土地家屋調査士制度の成り立ちから発展へ向かう歴史を詳述。

A5判 400頁 定価3,570円(税込) 平成22年4月刊 ISBN978-4-8178-3866-7



Q&A形式で実務を網羅。登記実務のエキスパートが解説。

新版 Q&A 表示に関する 登記の実務

全5巻
+
特別編

●多種多様な土地・建物の登記について具体的に解説

現場での疑問・実例が満載。根拠条文・先例・判例と関連付け、具体的に解答を提示。

●不動産登記法の改正に完全対応
前版の内容を全面的に見直し、新規設問を追加。●充実した索引で実務に最適
事項索引、法令・先例・判例索引を収録。

中村 隆・中込 敏久 監修 荒堀 稔穂 編集代表

第1巻 登記手続総論・土地の表題登記・分筆の登記

A5判 560頁 定価4,935円(税込)
平成19年1月刊
ISBN978-4-8178-3756-1

第2巻 合筆登記・地積更正・地目変更・地図訂正

A5判 562頁 定価5,040円(税込)
平成19年5月刊
ISBN978-4-8178-3769-1

第3巻 地積測量図・土地の滅失の登記・特殊登記

A5判 500頁 定価4,725円(税込)
平成19年11月刊
ISBN978-4-8178-3787-5

第4巻 建物の表題登記・建物の増築の登記

A5判 504頁 定価4,725円(税込)
平成20年5月刊
ISBN978-4-8178-3795-0

第5巻 建物の合体・合併・分割の登記、区分建物の登記、建物の滅失の登記、建物図面関係

A5判 640頁 定価5,775円(税込)
平成20年12月刊
ISBN978-4-8178-3802-5

特別編 筆界特定制度 一問一答と事例解説 筆界特定実務研究会 編著

A5判 672頁 定価5,880円(税込)
平成20年1月刊
ISBN978-4-8178-3778-3

最新刊

今後の地籍調査の基盤になる『準則』の大改正！携わる者の必需書籍！

平成22年改正「準則」準拠

地籍測量

國見 利夫 著

A5判 304頁(予定) 定価2,940円(税込) 平成22年9月刊(予定) ISBN978-4-8178-3879-7



日本加除出版

〒171-8516 東京都豊島区南長崎3丁目16番6号
営業部 TEL (03)3953-5642 FAX (03)3953-2061

詳しい情報は当社ホームページで！
<http://www.kajo.co.jp/>

日本加除出版

検索



TREND REGIC

土地家屋調査士事務支援システム【トレンドレジック 2011】

「TREND REGIC(トレンドレジック)」は不動産表示登記業務に必要な各種書類の作成(登記申請書・委任状・筆界確認書等)、およびオンライン申請から事件管理・顧客管理に至るまで、調査士業務の飛躍的な効率化と省力化をワンパッケージでサポートする「土地家屋調査士」専用のアプリケーションです。



Windows 7
対応

調査士専用アプリケーション、新登場。

「土地家屋調査士」業務全般を、ワンパッケージでサポート！ 操作もかんたんで、事務作業時間を大幅に削減します。

データ入力や書き直しの手間が大変。



各種書類作成



簡単入力

登記申請書を簡単に作成
 ■登記申請書作成 ■各種証明書作成
 ■登記関連書類作成

オンライン申請しなきゃと思うけどなかなか...



簡単オンライン申請



簡単申請

オンライン申請もラクラク
 ■登記申請書(XML形式)作成 ■乙号申請
 ■オンライン申請進捗チェック

保管場所や資料をさがすのが大変。



受託・事件管理



簡単検索

事件ごとに全てのデータを一元管理
 ■受託管理 ■事件管理 ■法人人管理

同時
リリース

NEW APPLICATION

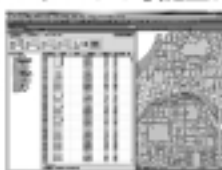
BLUETREND X4

測量計算CADシステム【ブルートレンド エグザ】

※対応OSの更新 動作環境につきましては、各ダウンロードホームページをご覧ください。

新測量計算CAD【ブルートレンド エグザ】誕生。

土地家屋調査士の皆様にも圧倒的シェアを誇る「BLUETRENDシリーズ」が、全く新しいシステム設計とデータベースエンジンを搭載。処理データの大容量化、高速化、可視化。そして共同編集への対応など、様々な新機能を装備した新次元のアプリケーションとして生まれ変わりました。



Windows 7
対応

最新のリリース情報は、ホームページで。 www.fukuicompu.co.jp

2010.7 NEW RELEASE

福井コンピュータ株式会社

本社 / 福井市恵比寿1-2501 Tel. 0776/53-8200 Fax 0776/53-8201

札幌・青森・福岡・仙台・岡山・長野・新潟・埼玉・新潟・宇都宮・水戸・千葉・東京・立川・横浜・静岡・名古屋・岐阜・岐阜・富山・福井・京都・大阪・神戸・福岡・岡山・広島・松山・高松・山口・徳島・大分・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄